35010829 ver.01 1-01 C10-013

BUFFALO

HD-HESU2 シリーズ

はじめにお読みください

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

準拠規格	USB Specification Rev.2.0	データ転送速度(理論値)	最大480Mbps(※)
コネクター	USBコネクター(シリーズB)	電源	AC100V 50/60Hz
動作環境	温度：5～35℃	消費電力	最大25W 平均17W
	湿度：20～80%(結露なきこと)	出荷時フォーマット形式	FAT32(1パーティション)

※本製品を、USB2.0で規定されているHSモード（最大転送速度480Mbps）で使用するには、弊社製USB2.0インターフェース（またはUSB2.0に対応したパソコン本体）が必要です。

本紙は、本製品のセットアップ手順を説明しています。

パッケージ内容

万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品形状はイラストと異なる場合があります。

- □ハードディスク（本製品）……1台
- □USBケーブル……1本
- □ユーティリティーCD（CD-ROM）..1枚
- □横置き用ゴム足……4個
- ☑はじめにお読みください（本紙）...1枚

■縦置きの場合

図のように、アクセスランプが下になる向きで設置します。

※底面の四隅にあるゴム足には、保護シートが貼り付けられている場合があります。保護シートをはがしてからお使いください。

■横置きの場合

アクセスランプが左になる向きで設置し、底面の四隅にゴム足を貼り付けます。

●本製品を積み重ねて使用するときは、必ず別売のオプションファン「OP-FAN」を取り付けてください。

故障およびデータの消失の原因となります。

●本製品に物を立てかけないでください。

転倒して故障する恐れがあります。

●本製品の上や周りに物を置かないでください。

熱がこもると故障の原因となります。

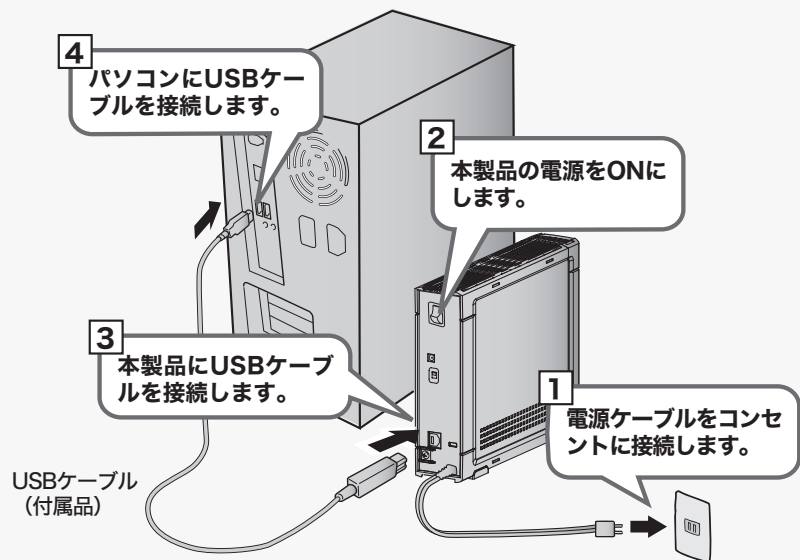
本製品は筐体を利用して内部からの熱を放熱しています。筐体表面が熱くなりますが異常ではありません。

※本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が印刷されています。本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。

※別紙で追加情報が添付されている場合は、必ず参照してください。

Step.1

パソコンに接続する

パソコンの電源をONにしてWindowsやMac OSを起動し、USBケーブルをパソコンと本製品へ接続します。

⚠注意

●パワーランプが点灯しない場合は、USBケーブル、電源ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。また、電源がONになっていることを確認してください。

●「セットしたディスクにMac OS Xで読み込めないボリュームが含まれています」という内容のメッセージ（日本語と英語、または日本語のみ）が表示されたら、[続ける]または[OK]をクリックしてください。

Step.2

お使いのパソコンに最適な設定にする

本製品をお使いのパソコンに最適な設定にします。OSによって手順が異なりますので、ご注意ください。

※画面は、お使いのOSによって異なります。

Windows の場合

以下の手順で、ドライバーをインストールしてください。

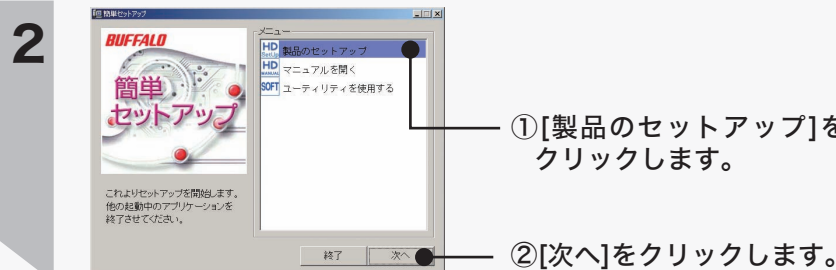
1 付属のユーティリティーCDをパソコンにセットします。

手順2の画面が表示されます。表示されない場合は、ユーティリティーCD内の「BUFFALOINST.EXE」をダブルクリックしてください。

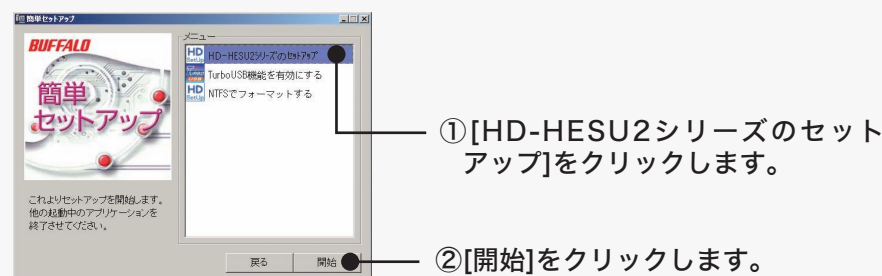
※Windows Vistaの場合、自動再生の画面が表示されたら[BUFFALOINST.EXEの実行]をクリックします。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら［続行］をクリックしてください。

※パソコンにCD-ROMドライブがない場合は、弊社ホームページ(buffalo.jp)からセットアップ用ユーティリティーをダウンロードできます。

※ユーティリティーCDをパソコンにセットすると、画面で見るマニュアル（PDFファイル）がデスクトップにコピーされます。

2

①[製品のセットアップ]をクリックします。

②[次へ]をクリックします。

3

①[HD-HESU2シリーズのセットアップ]をクリックします。

②[開始]をクリックします。

以降は、画面の指示に従ってセットアップしてください。

メモ

●パソコンのコネクターに空きがないときは、使用していない機器を取り外してください。簡単セットアップを起動した後は、付属のユーティリティーCDを入れたCD-ROMドライブ（外付け）も取り外せます（取り外しても簡単セットアップは動作します）。

●「次の新しいドライバーを検索しています（以下略）」というメッセージが表示されたときは、［キャンセル］をクリックして作業を続行してください。再起動後に、自動的にドライバーがインストールされます。

以上で本製品のセットアップは完了です。

Step.2

お使いのパソコンに最適な設定にする（つづき）

本製品をお使いのパソコンに最適な設定にします。OSによって手順が異なりますので、ご注意ください。

Mac OSの場合

Mac OS拡張形式で初期化します。

1 デスクトップの[Macintosh HD]をダブルクリックします。

2 [アプリケーション]フォルダーの[ユーティリティ]フォルダーを開きます。

3 [ディスクユーティリティ]をダブルクリックします。

4

①本製品をクリックします。

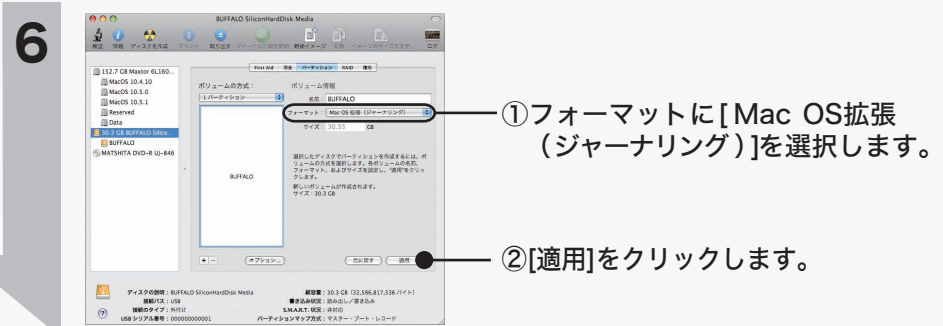
②[パーティション]をクリックします。

③[1パーティション]を選択します。

④[オプション]をクリックします。

※Mac OS X 10.3以前の場合は、[オプション]がありません。そのまま手順6へ進んでください。

5 [Appleパーティションマップ]を選択し、[OK]をクリックします。

6

①フォーマットに[Mac OS拡張（ジャーナリング）]を選択します。

②[適用]をクリックします。

7 [パーティション]をクリックします。

初期化が始まります。初期化が完了するまでお待ちください。

メモ

Mac OS X 10.5 以降をお使いの方へ

「Time Machine でバックアップを作成するために "（ボリューム名）" を使用しますか？」と表示されることがあります。Time Machine を使用してパソコンのバックアップを本製品に保存する場合は [バックアップに使用] をクリックし、Time Machine を設定してください【画面で見るマニュアル「フォーマット / メンテナンスガイド」】。Time Machine を使用しない場合は [キャンセル] をクリックしてください。

8 デスクトップに本製品のアイコン（ ）が追加されていることを確認してください。

以上で本製品のセットアップは完了です。

取り外しかた

パソコンの電源がOFFのとき

そのままパソコンから本製品を取り外します。

パソコンの電源がONのとき

使用しているOSによって、取り外しかたが異なります。次の手順で取り外してください。

⚠注意 手順を守らないで取り外すと、本製品や記録されたデータが破損する恐れがあります。

■Windowsの場合

❶ 本製品をUSB接続したパソコンのタスクトレイに表示されているアイコン（ 、 、 ）をクリックしてから、表示されたメニューをクリックします。

USB 大容量記憶装置 - ドライブ (H:) を安全に取り外します ― クリックします。

❷ 安全に取り外すことができる旨のメッセージが表示されたら、Windows Vista/2000では[OK]を、Windows XPでは、☒をクリックします。

❸ 本製品をパソコンから取り外します。

■Mac OSの場合

❶ デスクトップにある本製品のアイコン をゴミ箱にドラッグ&ドロップします

❷ 本製品をパソコンから取り外します。

ソフトウェア/画面で見るマニュアル

ソフトウェア（Windows Vista/XP/2000）

ユーティリティーCDには、Windows Vista/XP/2000用の便利なソフトウェアが収録されています。ソフトウェアの詳細やインストール手順は、画面で見るマニュアル「付属ソフトウェアの概要/お問合せ」をご覧ください。ソフトウェアによっては、インストール時にプロダクトキーが必要となります。プロダクトキーは、ユーティリティーCDに記載されていますので、ソフトウェアのインストールを行う前に以下のスペースに書き写してください。

プロダクトキー記入欄

ユーティリティーCDに記載されたプロダクトキーをここに書き写してください。

画面で見るマニュアル

ユーティリティーCDをパソコンにセットしたときに表示される画面（簡単セットアップ）で表示したいマニュアルを選択し、[開始]をクリックすると表示されます。

※画面で見るマニュアル（PDFファイル）を読むには、Adobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Readerも簡単セットアップからインストールできます。Adobe Readerの使いかたは、ヘルプを参照してください。画面で見づらいときは、印刷してお読みください。

注意

本製品の紛失・盗難等には十分ご注意ください

本製品の紛失・盗難・横領・詐取等により、第三者に個人情報が漏えいする恐れがあります。個人情報が第三者に漏えいしたために損害が生じた場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ハードディスクの破棄・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。

万一、 お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

付属のAcronis DriveCleanserを使用してデータを完全に消去するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。

詳しくは、http://buffalo.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。

※ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■本製品は一般的なオフィスのOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記載されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限といたします。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

<レグザ>かんたん接続マニュアル

東芝製デジタルハイビジョン液晶テレビ<レグザ>へのセットアップ

<レグザ>ZH7000、Z7000、ZH500、ZV500、Z3500 シリーズ対応

東芝製デジタルハイビジョン液晶テレビ<レグザ>（以降、本紙ではレグザと記載します）では、録画データの保存先として本製品を使用することができます。

※詳しい手順は、<レグザ>に付属の取扱説明書を参照してください。

※"レグザ"およびREGZAは株式会社東芝の商標です。

※本紙では、ZH7000シリーズを例に説明します。

※レグザでは、レグザに接続した本製品の省エネ設定を行えたり、初期化を行うことができます。省エネ設定とは、本製品を一定時間使用していないときにハードディスクの回転を止め、消費電力を抑える設定のことです。省エネ設定を行った場合でも、本製品のパワーランプは消灯しませんのでご注意ください。また、本製品を取り外しするときもレグザでの操作が必要です。詳しくは、レグザに付属している取扱説明書を参照してください。

●本製品に保存されているデータは、全て消去されます（再登録の場合は消去されません）。

本製品を初めてレグザに登録するとき、本製品は初期化（フォーマット）されます。本製品に保存されているデータがある場合は、パソコンなどにバックアップしてください。

●本製品の電源ケーブルは、まだ接続しないでください。

本製品の電源ケーブルは、レグザへ接続後に接続します。

●レグザに登録すると、本製品はレグザ専用機器となります。

本製品は、レグザに登録したときにレグザ専用の形式で初期化されます。そのままパソコンで使用することはできません。本製品をパソコンで使用する場合は、パソコンでフォーマットする必要があります。フォーマットするときに、本製品に録画した番組は全て消去されます。

1 レグザの電源をOFFにします。

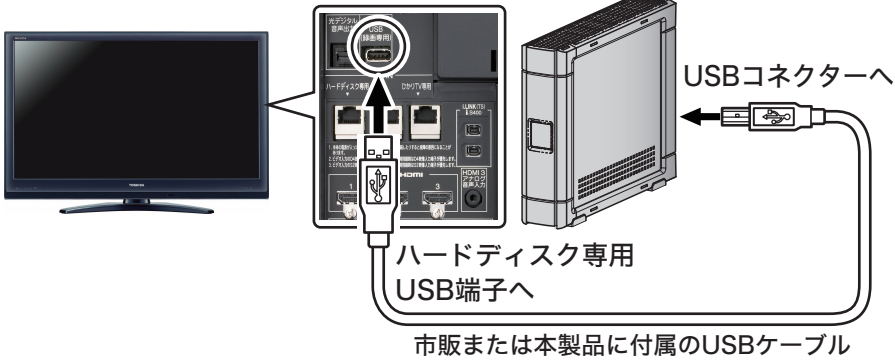
本体側面の電源スイッチを押します。

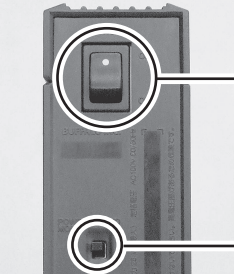
2 付属のUSBケーブルを使って、本製品をレグザ背面の録画(HDD)用USB端子に接続します。

本製品は、レグザに直接接続してください。USBハブなどを使用して複数台のハードディスクをレグザに接続することはできません。<レグザ>に付属の取扱説明書も参照して接続してください。

USBコネクターへ

ハードディスク専用USB端子へ

市販または本製品に付属のUSBケーブル

3 レグザの電源をONにします。

4 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続し、電源をONにします。

電源

AUTO電源機能切替スイッチ

【AUTO電源機能について（Z3500を除く）】

AUTO電源機能切替スイッチで本製品の電源をレグザに連動させるか設定できます。本製品の電源をONにする前に設定を行ってください（電源をONにしてから設定を行うと、正常に設定されない場合があります）。

●本製品の電源をレグザに連動させる場合

AUTO電源機能切替スイッチを「AUTO」にします。本製品は、レグザの電源に連動してON/OFFします。

●本製品の電源を電源スイッチで管理する場合

AUTO電源機能切替スイッチを「MANUAL」にします。レグザの電源をOFFにした場合、パワーランプが点灯したまま省エネ状態（ハードディスクの回転を止め、消費電力を抑えた状態）になります。

Z3500に接続した場合は、AUTO電源機能切替スイッチの設定にかかわらず、レグザに連動しません。レグザの電源をOFFにしたとき、パワーランプが点灯したまま省エネ状態（ハードディスクの回転を止め、消費電力を低減した状態）となります。

右上へつづく

5 レグザの画面に自動的に以下の画面が表示されます。「はい」を選択し、[決定]ボタンを押します。

> 機器の登録
> 未登録のUSBハードディスクを検出しました。
> USBハードディスクの登録を行いますか？
> はい　いいえ

※画面が表示されない場合は？

レグザのリモコンで以下の操作を行ってください。

①[設定メニュー]ボタン(ふたの中にあります)を押します。

②「レグザリンク設定」を選び、[決定]ボタンを押します。
Z3500シリーズの場合は、「初期設定」を選んで[決定]ボタンを押した後、「レグザリンク設定」を選び、[決定]ボタンを押します。

③「USBハードディスク設定」(「USB HDD設定」)を選び、[決定]ボタンを押します。

④「機器の登録」を選び、[決定]ボタンを押します。

6 「はい」を選択し、[決定]ボタンを押します。

> 機器の登録
> 登録を行うために、初期化を行います。
> このUSBハードディスクの内容はすべて消去されます。
> よろしいですか？
> はい　いいえ

7 本製品の登録名を変更する場合は、「はい」を選択して[決定]ボタンを押します。

※登録名を変更しない場合は、「いいえ」を選択し、[決定]ボタンを押します。

※登録名に表示される名称は、お使いの環境によって異なります。

> 機器の登録
> 登録名:ハードディスク1
> 登録名を変更しますか？
> はい　いいえ

文字入力の画面が表示されますので、画面に従って登録名を入力してください。

ZH7000、Z7000をお使いの場合は、以下の画面が表示されます

本製品に録画を行う場合は「はい」、現在の録画先にそのまま録画する場合は「いいえ」を選択して[決定]ボタンを押します。

> 機器の登録
> USBハードディスクの登録が完了しました。
> 新しく録画/録画予約するときの録画機器を
> 登録したハードディスクに録画しますか？
> はい　いいえ

8 以下の画面が表示されたら、[決定]ボタンを押します。

機器の登録

接続	登録番号	登録名
接続中	USB1	ハードディスク1

以上で完了です。

ZH500、ZV500、Z3500シリーズで本製品に録画を行うには、録画先を本製品へ設定する必要があります。録画先の設定は、レグザの取扱説明書を参照して設定を行ってください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。

正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。

パソコンの故障／トラブルや、データの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味　△⃠● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：⚠感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

強制　**本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。**

分解禁止　**本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。**
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁止　**AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。**
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制　**電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。**
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止　**電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。**
- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制　**電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。**
さわってけがをする恐れがあります。

強制　**小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。**

禁止　**濡れた手で本製品に触れないでください。**
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く　**煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにパソコン及び周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止　**風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。**
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く　**本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。**
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止　**USBケーブル、IEEE1394ケーブルは、本製品付属のものまたは弊社製のものをご使用ください。**
本製品付属または弊社製以外のUSBケーブル、IEEE1394ケーブルをご使用になると、電圧の端子や極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。

強制　**本製品の使用中および使用直後は筐体表面が熱くなっています。本製品に触れるときは電源スイッチをOFFにした後、30分以上たってから作業をすることをおすすめします。**

⚠ 注意

禁止　**ハードディスク、MO、フロッピーディスクドライブなどのデータ格納機器へのアクセス中は、パソコンや機器の電源をOFFにしたり、リセットしたりしないでください。**
データを消失、破損する恐れがあります。バックアップ作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制　**静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。**
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

禁止　**本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
本製品は精密機器ですので、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。本製品の故障の原因となります。

禁止　**次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。**
- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ　→故障の原因となります。
- 振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ　→故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ　→故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ　→故障や感電の原因となります。

強制　**パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。**

強制　**本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。**
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制　**各接続コネクターのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクターには手を触れないでください。**
故障の原因となります。

禁止　**本製品の上に物を置かないでください。**
傷がついたり、故障の原因となります。

禁止　**通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。**
故障の原因となります。

禁止　**アクセスランプが点滅している間は、電源ケーブルやUSBケーブルを抜いたり、システムをリセットしたりしないでください。**

禁止　**ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。**
とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。
- 誤った使い方をしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 故障、修理などのとき
- パソコンの電源スイッチをOFFにした直後に、すぐに電源スイッチをONにしたとき
- 天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁止　**シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。**
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止　**本製品内部からの放熱により製品が少し熱くなりますが、異常ではありません。熱がこもると故障の原因となりますので、製品使用中は布などかぶせないようにしてください。**

強制　**本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。**
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

付属ソフトウェアのサポートについて（Windowsのみ）

付属ソフトウェアについてのお問合せ先は画面で見るマニュアル「付属ソフトウェアの概要/お問合せ」（PDFファイル）をご覧ください。「付属ソフトウェアの概要/お問合せ」は表面に記載の「画面で見るマニュアル」の手順で表示できます。

※株式会社バッファローではお問合せを承っていないソフトウェアもございます。あらかじめご了承ください。

2009年2月20日　初版発行　発行 株式会社バッファロー